



北海道中札内高等養護学校 コミュニティ・スクール通信

中札内高等養護学校
CS(学校運営協議会)事務局
発行日:令和5年7月11日

令和5年度第1回コミュニティ・スクール(学校運営協議会)開催

7月12日、今年度1回目の学校運営協議会が開催されました。

本校のコミュニティ・スクールは、『中札内村で生活し働く人材の育成』という長期目標を掲げてスタートし3年目を迎えています。昨年度、卒業生1名が村内への就労を実現しました。

今年度も、卒業生の村内への就労・定住を進めるため、地域と学校の連携を進めるために、取り組むことを確認しました。

令和5年度 学校運営協議会 委員

	氏名	所 属
1	加藤 雅人	中札内教育委員会 社会教育主事
2	高桑 佐登美	中札内村役場 福祉課長
3	下浦 強	中札内村役場 総務課長補佐
4	小川 清美	社会福祉法人ポロシリ福祉会 障がい者支援施設中札内のぞみ園施設長
5	吉倉 孝尚	中札内村商工会 会長
6	小林 功幸	6区町内会 会長
7	杉江 茂	中札内高等養護学校援護会 会長
8	藤田 勝彦	中札内高等養護学校援護会 理事
9	鳥倉 華以	地域住民
10	河瀬 智恵	中札内高等養護学校 PTA会長

会長選出

河瀬 PTA 会長に引き続き会長を受諾していただきました。2期目もよろしくお願いいたします。

グランドデザインについて

- ・今年度6月までの取り組み、成果について、資料をもとに説明しました。
- ・授業での取り組み、研修会の運営、地域との連携学習、校内運営の組織作りなどが進んでいます
- ・今一度、障がい特性について学ぶ必要性について問題提起しているところです。

(意見・質問)

・PTA 活動については、意見は活発に出ていてよいと思います。

・森の輪プロジェクトは、生まれてくる赤ちゃんにプレゼントするのはとてもいい取り組みになると思う。木の伐採から製品贈呈までの過程を映像などで購入者も見れるといいと思う。産業課にもお願いしたい。

・ICT の活用について、生徒はオンライン学習になかなか入れないのかと思っていたが、実際はどうか。

→生徒も経験を積み、比較的スムーズに接続し、楽しみながら参加できています。

・LGBT 研修なども昨年あったが、実際の生徒の様子はどうですか。

→更衣トイレは別で行っているが、特別感はなく、過ごしている様子があります。

・作業製品の購入も仕事などでなかなか購入できない意見もある。数は限られると思うが、前もって予約できるようなシステムがあればいいと思う。

・学校の製品の販売方法について生徒はどう考えているのか。

・自分たちの作った製品が多方面から評価され、世界を広げられればよい。

・外から評価される経験、フィードバックされることが大切。

→製品販売方法などについては、校内で検討していきます。

学校いじめ防止基本方針について

・資料をもとに学校の体制について説明しました。

(質問) 生徒はスマホを持っていると思うが、トラブルはあるでしょうか。

→表現が未熟な部分もあって、トラブルは数件あります。

→ライン、SNS を通じた書き込みなどを授業や講座などを通じて学んでいる。実際に使いながら適切な使用方法を学んでいくことが大切です。

→幕別分校では、校内のみの SNS を作り投稿できるようにしています。表現に問題があればその都度指導しています。

進路状況

【卒業生概要】

去年、村内の工場に就労した A さんは 2 年目に入りました。昨年、自分が力不足だと感じ、それを相談できずに体調を崩した時期がありました。卒後支援として進路指導部、旧担任が本人と話をしながら、就労に復帰しています。職場の先輩が気を遣ってくれて、たまにご飯に誘ってくれる、等の話を耳にしています。運転免許取得への動きもしているようです。

また、今年の春、村内に就労した B さんですが、働き出して 1 ヶ月で弱音をはく場面もあって、卒後支援で職場を訪問したり、仕事帰りに学校に立ち寄って、旧担任と話をしていく等の工夫で、少しずつ職場に慣れている状態です。働き始めは他社との合同業務で見通しも

持ちづらい、体にも疲れがたまってくる、上手く相談できない等、学生から社会人として働き出す時の荒波を感じていると見ています。社長さんも、半年、1年は慣れるまで時間がかかると見守ってくださっているので、ゆっくり職場に定着してもらいたいと考えています。

【在校生進路指導】

現在の所の3年生の進路状況も報告させていただきます。

昨年度に引き続き、GH、宿泊型自立訓練を利用する予定の生徒が6名おります。他の十勝の通学型高等支援学校と比べると、比率としては高い数字です。卒業後はそれぞれの事情があって、地元から、自宅からではなく、GH等を選択するケースが多い状況です。

昨年度の一般就労は小売業が多かったのですが、今年度は、牧場や工場勤務などに挑戦する事例が多い印象です。どの業種であっても、継続して働き続けることができるよう、本人の選択、納得を大事にしながら、前提実習と進路指導を進めていきます。

【中札内への雇用を目指して】

昨年度から中札内村での生活の場、ということ 키워ドとして発信させていただきました。3月に、一般社団法人の方が、「中札内に手帳のある方のためのグループホームを作りたい」と話される方が学校に訪問されました。まだ、構想段階とのことですが、様々な情報を集めていく上で、中札内で生活し、中札内で働く卒業生が増えていくことを願っています。

2年生では、村に在住している通学生が村役場で単独実習を受け入れていただくことになりました。将来的なことはさておき、まずは仕事を経験して出てくる反応を見ながら、どのような進路を希望していくか、様子を見ていきたいと思ひます。

今後に向けて

・学校の取り組みについてアイデアを出してもらいました。



